

第6回 大地のカコンペ 2022 募集要項

1. 未来農業創造研究会がめざすもの

日本の黎明期から現代まで長きにわたり私たちの生命を支えてきてくれた日本農業。その日本農業が今、さまざまな要因のもとで大きな転換を迫られています。多くの課題をもつ農業ですが、生命を司る根幹産業としてその必要性・重要性はより高まっており、未来へ向けた大きな進化が必要です。進化した新しい未来農業、その一端を新しく瑞々しい価値観を持った、若者と女性が担ってゆくでしょう。また、異分野から農業に魅せられた方々もその 専門知識と感性を農業で活かしてゆきます。新しいわたしたち一般社団法人 未来農業創造研究会（農創研）はそんな方々と共に農業を応援し、ともに成長してゆくことを目的としています。

2. 大地のカコンペが目指すもの

課題多き農業ではありますが、これまでも、そしてこれからも非常に重要であり、大きなパワーと魅力を持った産業であります。その力は現代社会を悩ませる問題を解きほぐすことができるかもしれません。そのような、農業の力やそのフィールドを通してさまざまな社会課題の解決を目指す動きを「アグリ+（アグリプラス）」と名付けました。

大地のカコンペは「アグリ+アイデア」を表彰するとともに、未来に向かって大きくはばたくお手伝いをするを目的とします。また、未来農業の中心となる若者・女性が活躍できる事業やアイデアにスポットをあてるとともに、異分野からの知恵も取り上げながら農業の裾野を広げることを目指します。

3. 第6回 大地のカコンペ 2022 テーマ

第6回となる大地のカコンペ。今回のテーマは「**農業 × つくる責任つかう責任**」です。

気候変動による大災害の頻発や疫病の蔓延という社会課題に農業がどう対処するか。もしくは課題解決にどう役立つか。そんなアイデアを募集します。

今を生きるわたしたちは、地球環境を維持しながら次の世代へ引き継ぐ責務を負っています。一方で、より早く・より便利に・より快適にという欲求に抗いながらその責務を実行することはなかなか難しいものです。環境の維持と社会の発展を両立すること。それが「持続可能な発展 - SDGs」のひとつの目標だといえます。

環境との関わりが深い農業の世界でも SDGs への寄与が求められています。自然環境とは一見仲が良さそうな農業ですが、自然の恵みを享受しながら環境破壊の原因となっていることも事実です。

農業が環境破壊の原因になる理由の1つは、わたしたち消費者にあるかもしれません。きれいで新鮮な野菜・安全安心な食肉や卵・お財布に優しい「食」などを追求することが自身の首を締めることにつながっていることも。

「農業 × つくる責任つかう責任」というテーマには、大きく以下のような想いが込められています。

- ・農業そのものが環境によりやさしくなること
- ・農業の力を利用して環境をより良くすること
- ・わたしたち消費者が農業や食の現場でよりよい行動をおこなえること
- ・食品ロスなどの諸課題が解決に向かうこと

わたしたち自身と次世代に、よりよい環境を実現できるようなアイデアを募集します。

もう1つ。大地のカコンペは基本テーマとして「SDGs（持続可能な開発目標）」を掲げています。SDGsとは、国連加盟国により採択された開発目標。ただし、開発といってもこれまでの環境破壊型とは異なり、地球環境および人間の幸福と尊厳を守りながら、『誰も取り残されない』世界を実現しようという壮大な目標を目指すものです。そこには17の目標と細分化された169のターゲットがあり、全世界の人々・企業・国々が取り組むことが求められています。

（参考：国連開発計画 駐日代表事務所 Web ページ <http://www.jp.undp.org/content/tokyo/ja/home/sustainable-development-goals.html>）

農業は環境・開発に直結した産業であり、SDGsの理想に近づくべく努力しながら発展していくべきだと考えます。ただそれはみなさんが日頃心がけている小さなことから始まるでしょう。水をできるだけ節約する。過剰な農薬は使わない。どんな人でも快適に働ける環境を作る。などなど。

あなたの地域創生のアイデアがSDGsのどのターゲットに取り組んでいるか教えてください。

4. 募集内容

次の分野に関わるアイデアを募集いたします。

1. みんなが活躍：年齢や性別、国籍、文化、宗教、価値観、障がいの有無などに関わらず、誰もがそれぞれの個性を活かして活躍できる仕組みを作り、誰も置いてきぼりにならない社会をつくるアイデア
2. 命をつむぐ：食や農の分野で、持続可能な発展につながるアイデア
3. 地域を元気に：地産地消など、地域に根差した食文化や農業遺産を利用しながら、地域を活性化するアイデア
4. 環境を守る：つくる人・つかう人それぞれが責任を持たなければならない環境問題。その諸問題を解決するアイデア。
5. 明日を創る教育：環境に配慮した消費行動をとれる消費者や、つくりてを育成するアイデア
6. パートナーシップ：異分野からの、作り手である生産者の発展や、環境に配慮した消費者育成につながるアプローチ
7. ミライの道具：作り手・使い手が、環境問題・食品ロスなどの諸問題に先端技術を用いて取り組むアイデア
8. そのほか：環境負荷や食品ロスなど、作り手と使い手の責任が問われる課題を解決に導くアイデア

5. 審査について

1. 審査方法

1) ブラッシュアップ審査

アップロードいただいたエントリーシートを審査員がチェックします。疑問点やアドバイスを書き込み、返送させていただきます。

受け取りましたら内容をブラッシュアップし、再度アップロードしてください。

締め切りは2022年1月15日24:00とします。

可能な限り3日以内にチェック、ご返信しますが、エントリーが集中した場合は遅れることもございます。その場合は締め切りを考慮させていただきます。ご了承ください。

2) 一次審査（書類審査）

締め切りは2022年1月31日24:00とします。

ブラッシュアップ後のエントリーシートをもとに審査委員会（学識経験者・公益財団法人 イオンワンパーセントクラブ・一般社団法人 未来農業創造研究会、他）による書類審査を行います（非公開）。

審査結果はメール・電話にて2022年2月15日までにご連絡いたします。

2) 二次審査（インタビュー・現地調査）

審査委員会による一次審査通過者訪問。インタビュー等の調査を行います。

調査を基に2022年2月末までに審査を行い（非公開）、結果を2022年2月28日にウェブ上にて公表、ご連絡いたします。

3) ファイナルプレゼンテーション

2022年3月18日（金）表彰式会場もしくはビデオプレゼンにて7分程度のファイナルプレゼンテーションおよび質疑応答を行っていただきます（公開）。プレゼンテーションのポイントを加味し、最終審査を行います。

※審査内容の詳細・結果に関するお問い合わせには一切お答えできません。

※新型コロナの影響によりファイナルプレゼンテーションの方法は変更される場合がございます。ご了承ください。

2. ファイナルプレゼンテーション審査員

二次審査終了時に、ファイナルプレゼンテーション審査委員を発表いたします。

6. 審査基準

「農業 × つくる責任つかう責任」というテーマにおいて、以下の内容がいかに含まれているアイデアかどうかにより審査いたします。

1) 社会的インパクトに対する評価

- ・農業だけではなく、社会全体に貢献するアイデアかどうか
- ・女性や若者・障害者など全ての人々が活躍できるアイデアかどうか
- ・SDGsに基づいた社会課題の解決に寄与するかどうか
- ・農業の楽しさ・魅力を引き出すアイデアかどうか

2) 革新性に対する評価

- ・既存の価値観を打ち破るような独創性のある新しいアイデアかどうか
- ・新しいモノ・コトを生み出しているかどうか
- ・新たなニーズやマーケットを掘り起こせる可能性があるかどうか
- ・聞く人をワクワクさせるようなアイデアかどうか

3) 事業性に対する評価

- ・顧客・市場・競争環境が分析できているかどうか
- ・実現可能性の高いアイデア・計画かどうか
- ・持続可能かどうか

7. 応募条件

1. 下記に該当する全ての方々をご応募できます。

○会社（農業生産法人も含む）として応募する場合

1. 未上場会社であること
2. ベンチャーキャピタル、インキュベーター、アクセラレーター、大手企業等の資本参加がないこと

○個人・もしくはグループとして応募する場合

1. 所属企業・団体の知的財産に基づいたアイデアでないこと
2. 所属企業・団体に許可を得ていること

○学生の場合

大学院・大学・高等学校・専門学校・その他に所属していること。学年・年齢は不問。
(ただし未成年の場合は引率者・保護者を連絡先とすること。)

2. 欠格事由等

次に該当する者は応募ができません。

- 1)破産者で復権を得ないもの
- 2)刑事事件に関して現に起訴されているもの
- 3)禁固以上の刑に処せられ、その執行が終わった日から 10 年を経過しないもの
- 4)罰金刑に処せられ、その執行が終わった日から 5 年を経過しないもの
- 5)執行猶予付きの刑では当該執行猶予期間を経過しないもの
- 6)反社会的勢力・団体に所属または関係が認められるもの
- 7)その他、表彰することが適当でないと認められるもの

3. 他のコンペ等での受賞歴について（第 5 回より新たに設けた条件となります。）

他のコンペなどでの受賞歴については審査に影響いたします。次に該当する場合はプラスの評価となりますが、多くの表彰事業へ同じアイデアでの応募がなされている場合はマイナスの影響があります。

- 1)当コンペでの受賞が当該アイデアの発展に大きく寄与する場合。
- 2)当該アイデアの内容が広範囲にわたり、受賞歴だけでは社会的評価が不足する場合。
例) 環境系コンペでの受賞歴があるが、アイデア自体が農業の発展に大きく寄与する場合。
- 3)当該アイデアの受賞が当コンペの発展に寄与する場合。
- 4)その他、積極的に評価したい内容の場合。

8. スケジュール

審査は以下のスケジュールに沿って行います。

※ブラッシュアップが必要ない場合の最終締め切りは 12 月 15 日とします。

	期間
募集期間	2021 年 9 月 20 日～2022 年 1 月 31 日
説明会およびブラッシュアップ会	ウェブサイトおよび Facebook にて広報いたします。
提出書類締め切り	2022 年 1 月 31 日
ブラッシュアップ審査	2021 年 9 月 20 日～2022 年 1 月 15 日
ブラッシュアップ後の締め切り	2022 年 1 月 31 日
一次審査（書類審査）	2022 年 2 月初旬～2 月中旬
二次審査（インタビュー・実地審査他）	2022 年 2 月中旬～2022 年 2 月 28 日
二次審査発表	2022 年 2 月末日
ファイナルプレゼンテーション・最終審査	2022 年 3 月 18 日（金）

9. 受賞者特典

1. 受賞賞金

受賞者には以下の賞金および副賞が授与されます。

	賞金金額	賞状もしくはトロフィー
グランプリ	総額 100 万円	○
準グランプリ		○
奨励賞		○
輝く農業賞		○
ミライの農業賞		○
未来農業シーズ賞		○

2. 副賞

受賞者および将来性のみられるアイデアには副賞として以下の内容が授与されることがあります。

- ・企業とのマッチング
- ・アントレプレナー、インキュベーターなどとのマッチング
- ・実現化に向けてのコンサルティングなど

※審査結果により、受賞者数や特典内容を変更する場合があります。また、特別賞を設ける場合があります。
※表彰式にて行っていただくファイナルプレゼンテーションを加味して最終的な賞が決まります。

10. 応募手続きから受賞までのフロー

- 1) ウェブページにてメールアドレスを登録し、募集要項およびエントリーシートをダウンロードしてください。
- 2) エントリー希望の方はウェブページより応募メンバーにご登録ください。
- 3) まずはブラッシュアップ審査へアップロード。審査員が内容をチェックし、アドバイスを加筆したエントリーシートを返送します。
- 4) アドバイスを参考とし、ブラッシュアップします。
- 5) 再度アップロードしてください。本アップロードをもって審査に移ります。
- 6) 一次審査（書類審査）
- 7) 二次審査（原則として応募者所在地においてインタビュー・実地審査）
- 8) 表彰式においてファイナルプレゼンテーションもしくはビデオによる審査
- 9) 最終審査
- 10) 受賞内容決定

11. 表彰式

表彰式について

大地のカコンペ表彰式は2022年3月18日（金）に東京にて行います。詳細については後日発表いたします。当日は「未来農業 DAYS」として、農山漁村男女共同参画推進協議会主催の「農山漁村女性活躍表彰」の表彰式との共同開催となります。当該表彰は、現在すでに農業・林業・漁業の世界で活躍されている方々を顕彰するものです。大地のカコンペに参加される、未来の農業界で活躍する方々と交流し、刺激し合うことを期待しています。

詳細・エントリーは
<http://daichi-no-chikara.awable.org/>

※詳細は断りなく変更されることがあります。お手数をおかけしますが最新の内容については上記ウェブサイトをご参照ください。

※新型コロナウイルスの影響により、審査方法や表彰式について大きく変更がある場合がございます。ご了承ください。